

修了評価の方法

評価基準作成者： 秦 彩香

評価方法及び合格基準	<p>1 出題範囲</p> <ul style="list-style-type: none">(2)介護における尊厳の保持・自立支援(3)介護の基本(4)介護・福祉サービスの理解と医療の連携(5)介護におけるコミュニケーション技術(6)老化の理解(7)認知症の理解(8)障がいの理解(9)こころとからだのしくみと生活支援技術 <p>2 出題形式</p> <p>択一形式及び記述形式とする。</p> <p>3 出題数</p> <p>択一16問 記述4問 計20問</p> <p>4 合否判定基準</p> <p>60点以上で合格とする。</p> <p>5 不合格になったときの取扱い</p> <p>担当講師による補習のうえ、当日にて再試験を実施する。 (当日補習費用：無料、再評価費用：無料)</p> <p>ただし、当日の再評価の試験の回数は最大2回までとする。 当日に合格出来なかった場合は、後日当社指定日時にて再試験を実施(補習費用： 2,500円、再評価費用：1,000円)</p>
------------	--